

福井市中心市街地活性化基本計画 第1回策定委員会 議事録

日 時	2006年11月8日 14:00~16:30
参 加 者	委員：21名 (オブザーバー：福井県2名、福井市2名)

議 事	
事務局	開会の宣言 委員・オブザーバー、事務局の紹介
委員長	<p>全国の中心市街地では、どこも厳しい困難に直面しています。消費者及び地域の人々は郊外の大型商業施設の利用機会を増やし続けています。その結果中心市街地のあちこちで空店舗がみられるようになりました。しかし、中心市街地は単に都市の買い物の場にとどまらず、重要な「顔」であり、都市そのものの文化・歴史を表現するものでもあります。本日お集まりいただいた皆さんのご協力とご意見を頂きながら、本委員会を進めていきたいと思ひます。</p>
事務局	(資料説明)
委員	<p>福井鉄道の乗降客数は、減少傾向でしたが、昨年度前年比で100%を超えました。本年度より低床型車両を導入し、現在前年度比3.7%増で推移しています。また福井市の運行区間では、今年5月時点で対前年比では107.4%と乗降客数が増えています。</p> <p>鉄道の利用人員が増えると中心市街地も活性化し、中心市街地が活性化すれば鉄道の利用人員が増えると思われまふ。利用者を増やす方策はいくつかあると思ひますが、商店街のタイアップした企画等を実施できれば良いのではと思ひます。</p>
委員	<p>おそらく福井市は中心市街地が衰退したというよりは、郊外がマンモス化しており、全国の県庁所在都市では例がないと思ひます。</p> <p>ある都市では、市街化を抑制すべき区域を設定しなかつたので、無秩序に郊外化している状況になっています。私はこういう都市を「自滅型」都市と言っています。福井市では線引きはしていますが、極めて巧妙に市街化区域を広げていっています。「破滅型」都市と呼んでいます。一つ提案したいのは、やはり活性化しない原因があるわけで、しっかりと検証し、総括することが不可欠と考えており、そうでないと活性化のための新しい設計図は描けないと考えています。</p> <p>中心市街地と表裏の関係のある郊外のマンモス化を検証していくことが、中心市街地の再生、再構築を図る上で必要と考えています。</p>
委員	<p>将来的なビジョンが必要と思ひます。将来にどのようなまちをつくるのかを考えていくことが大切と考えまふ。県、市としてどのように取り組んでいくのかをはっきりさせることが必要ではないかと思ひます。</p> <p>また、どこの都市でもやはりシンボルが必要であると思ひます。シンボルとしてわかりやすくはっきりしたものを考えていく必要があると思ひます。</p> <p>コンパクトシティという定義そのものがわかりづらい。まずどういうまちをつかっていきたいのかというものがあつて、その次に郊外の人々がコンパクトシティというものを、どのように捉えていくのかが必要と思ひます。公共交通を、郊外と中心市街地をどう結びつけるのかがクローズアップされるのではないかと思ひます。</p>

委員	<p>駅前五商店街はこれまでスクラムを組んで頑張ってきましたが、郊外のショッピングセンターに押されてきています。この状況を踏まえてどのようにしていくべきなのかということを考えて欲しい。観光客や郊外からのお客さんを引き止めるような大きな施設が欲しい。大型バスも駐車できるような場所も欲しい。この苦しい状態から活性化していくために、真剣に考えていきたいと思っています。我々商業者の身になって考えていただきたいと思います。</p>
委員	<p>まちなかに会議などで来たときに、電車の時間を見ながらすぐに帰ってしまうのですが、1時間多く滞在できるまちなかになることを望みたいと思っています。楽しく見て歩けるところ、遊べるところがないと、電車の時間にあわせてすぐ帰ってしまいます。既存の商店街を利用して歩けるようにできることが、中心市街地でできたら良いと思います。高齢者が気軽に公共交通機関を利用して来街し、何時間でも遊べる滞在するために、中心市街地にしかない店舗や施設をつくる必要があるかと思っています。</p>
委員	<p>これまでに対策を講じて、それでも店舗数などが減少してきていることを考えると、視点を変えていかないと同じことになるのではないかと思います。一番大切なのは生活者・住民の視点からどのように考えるのかということになります。</p> <p>福井のまちは悪くはないと思いますが、何を訴えていくのか統一性を持たせたほうが良いと思いますし、金沢や大都市と違った異質感のあるものをシンボルとしていく必要があると思います。</p>
委員	<p>年金や医療などの面で高齢者は厳しい状況にありますが、自分の生活をエンジョイしたいという気持ちは多く持っていると思います。その視点を取り入れる必要があると思います。</p> <p>高齢者が回遊できるような環境をつくっていくことが必要だと思います。</p> <p>公共交通機関が整備されると良いと思います。例えば、1枚の乗車券で何箇所も観光めぐりができて、福井の観光名所を循環できるようなことがあったら良いと思います。</p>
委員	<p>低床型バスが運行しており、高齢者から喜ばれております。最近では車両自体の大きさは変わらないが、車内の空間が広がっているものがありますので、そういったものを路線バスやすまいるバスに広めていって欲しいと思います。</p> <p>高齢者、障害者用の支援住宅がありますが、これらの多くは周辺部にあつて、まちなかにはありません。中心市街地にそのような住宅を確保し、可能であれば市営住宅を整備していただくと良いと思います。</p> <p>福井は雪が多いので、地下をもっと有効活用できないかと思っています。</p> <p>高齢者が増えていく中、まちなかに高齢者が楽しめる施設があつて、自由に行き来できれば良いと思います。また、エンゼルランドふくいのような施設がまちなかにあれば親も一緒に来ますので、子供が遊べるような施設もあれば良いと思います。</p> <p>足羽川は桜並木など良い資源だと思います。ただ、車でいくには不便なので、もっと人が来ることができるようにして欲しいと思います。</p>
委員	<p>平成10年度の基本計画策定に参加しており、その中で一時間多く楽しめるまちづくりに賛同しました。しかし、マイナス30分になってしまったのではないかと思います。</p> <p>この中心市街地はどこにいきこうとしているのか、どのようになってしまうのか、市民として危機感を抱いています。中心市街地の商業者は、活性化しないのは駐車場が足</p>

	<p>りないからなど、言い訳ができないと思います。今あるものを生かす、ソフト・サービスでまちづくりをしなければならないと思います。建物を建てる、ハード整備などのまちづくりはもうだめだと思います。</p> <p>福井は何が良いかという、食べ物が良いと思います。福井といえば越前かに、越前そばといったものがありますが、知名度が下がってきており、危機感を持っています。中心市街地に住む人々、商売をする人々が楽しいと思っているのか、明日もやりたいと思うのか、5年後も10年後もそこで店をしたいか住んでいきたいかということ、自分たちが思えないと、楽しくないのではと感じました。</p>
委員	<p>金沢は中心に文化施設が集中しています。福井は音楽堂や県立図書館、市立美術館などは郊外に移転しています。これらはもっと中心に集めていただきたいと思います。最近中心市街地にパーキングが増加しており、順化地区では駐車場が増加し、点在していますがまとめていくことができないかと思っています。また駐車場はもう十分ではないかと思っています。マンションなどを整備していただいて、人が住むことを考えていただきたいと思っています。</p>
委員	<p>福井は車社会が進んでいるので、駐車場を思い切って無料開放してみたらどうかと思います。思い切ったことをやらないと活性化につながらないのではないかと思います。郊外に若い人たちが出て行っていますが、家族の形が変わってきているのが一因になっているのではないかと思います。核家族化の良し悪しは別にして、お年寄りと子供と一緒に楽しむという機会を増やし、家族って良いものだということを、子供たちにわかって欲しいと思います。</p>
委員	<p>手寄地区の住民にアンケート調査を実施しておりまして、鉄道が高架になって、中心市街地に行くのに非常に便利になりまして、一番便利さを感じているのが手寄地区の住民ではないかと思っています。</p> <p>また「これからどうしたらよいか」との問には、環境整備を多く挙げています。福井駅東口はこれから少しずつ整備がされると思っておりませんが、環境、緑豊かということが挙げられておりますので、ぜひ配慮していただきたいと思っています。</p>
委員	<p>中心市街地活性化の必要性について、納得してない市民が多くいるのではないかと思います。郊外化がなぜ悪いのかについて、福井市独自の分析をぜひお願いしたいと思っています。青森市や富山市等は、このまま行けば財政が持たないと言い切っており、福井市も言い切る必要があるのではないかと思います。</p> <p>目標であった、プラス1時間についてなぜできなかったのか、考える必要があります。そのために、民間投資を呼び起こすための誘導策を戦略的に検討しなければならないと思います。やはり広域交流という、前回計画の流れの積み残しの部分を検討しなければならないと思います。来街してもらうことを、計画に盛り込む必要があります。土地所有者にも努力してもらう必要があります。特にビルの2階以上の事務所部分等の需要が落ちていることが福井での投資を鈍らせている大きな原因だと思います。</p>
委員	<p>福井市の商業についてこれまで多くの計画が策定されてきましたが、全く実施されてこなかったというのが現状ではないかと思っています。これは大きな反省点だと思います。不退転の気持ちで取り組んでいく必要があると思います。</p> <p>市街地に工場等をもっている方が、郊外移転する場合の跡地活用として、これまで大</p>

	<p>規模小売店舗を誘致して経済活動を行ってきました。今回の法改正によって、前述の経済活動の機会を奪っていることから、責任をもって策定する必要があります。</p>
委員	<p>郊外店へいけば必要なものは揃っています。お客の立場で中心市街地へ行ったときにどう思うのかということ考えた時に、やはり郊外店には売っていないものを、専門展開するような店舗も必要であると感じています。</p> <p>県の中心市街地の懇話会とこの委員会でそれぞれ何らかの結論をだしていきますが、県と市はどのような役割分担を考えていますか。</p>
事務局	<p>県の活性化懇話会は、県内の中心市街地の活性化のためのどのようなことをしていけばよいのかという基本的な議論をしています。広域的な視点にたつて、各都市の中心市街地をどうして行くのかという立場にたっているものと理解しております。</p> <p>福井市中心部における各種事業については、県と市がそれぞれ事業を実施しておりますが、具体的な事業の調整についてはこれまでも実施しております。新たに本計画で打ち出す事業についても、調整は十分にしていける必要があると考えています。</p>
オブザーバー	<p>国でまちづくり三法の改正を行いました。その中で福井県独自のまちづくりを進めていくにあたって、郊外の規制においてもどう考えていくべきか、あるいは中心市街地の活性化においても、福井県らしいまちをつくるためには、国の施策を補完する形でどう考えるべきかを検討しています。しかし、地域によって実情が違います。現実のまちづくりはやはり各市で地域の住民が中心になって考えて欲しいと思います。福井市から意見を聞きながら、また皆さんの意見も聞きながら実効性のあるような形で県の制度をつくっていきたいと考えています。</p>
オブザーバー	<p>都市計画については土地利用の観点から、現在広域的に大規模小売店舗の立地のあり方について、長期的な観点からの方針づくりを実施しております。個別の土地をどのようにしていくのかということは市が、広域的な点からの考え方については県で示して行きたいと考えています。</p>
委員	<p>平成12年にまちづくり福井を設立し、これまで事業を実施してきました。多くの市民の方々から駅前が明るくきれいになったとの評価を受けております。またこれを機に商業者の方の中には店舗改装の動き等が出てきています。</p> <p>ただ、残念ながら、中心市街地を活性化の必要性についての市民合意がなされていないように思います。それは単なる商業集積の一つとして見ているからです。中心市街地は都市のイメージをつくっていく大切な場所であること、都市機能が集積している地区ということを見つめ直す必要があると思います。</p>
委員	<p>商店街を取り巻く環境は非常に厳しくなっています。郊外の大型店の問題もありますが、駐車場の問題があります。郊外には無料で駐車できることもありますが、中心市街地では駐停車禁止の重点地区について、福井市内では取締りを徹底しています。この取締りについても見直しを図る必要があるのではないかと思います。</p> <p>プラス1時間の回遊性について、県外客にどこに行けばよいか聞かれても回答に苦しみます。すばらしいものがあるはずだけど、説明ができない。例えば福井城の石垣を見たとしても1時間も必要ありません。養浩館も30分あれば十分です。そういった施設が連携しながら魅力を高めていくことが必要です。</p>
委員	<p>現代のニーズを全てかなえていくのは難しいのではないかと思います。どのようなも</p>

	<p>のを選んでいくべきか、本物を選ぶための努力が必要ではないかと思います。</p> <p>福井をごみごみしたまちにしたいのか、洗練されたまちにしたいのか、文化のあるまちにしたいのか、その点も突き詰めていく必要があると思います。</p> <p>鉄道についてですが、周辺の都市から来た場合、福井駅での乗り継ぎが悪く、改善すべきではと思います。</p>
委員	<p>福井市の活性化について、方向付けをしなければならないということは皆さん一致しているのではないかと思います。</p> <p>また、中心市街地活性化の市街地整備については、かなり完成してきたと思います。地下駐車場等事業中のものがある中で歩行者通行量などが下げ止まりしているということは、完成後うまく活用していく余地が残っているということがいえます。市街地整備事業については、もうこれ以上ないくらい実施してきているということがいえます。これらの官民挙げての活用方策を活性化の中心におく必要があります。また福井都市圏の中心として、周辺とどのように絡めながら中心部を活性化していくのかを位置づけていく必要があります。</p> <p>中心市街地を活性化の必要性について、全市民的なコンセンサスが取れていないということが、一番の問題だろうと思います。買い物の利便性だけでなく、生活の質、楽しさそのものが、活性化をすることによって提供されることをどのようにアピールしていくかが、計画の策定とともに必要ではないかと思います。</p>
事務局	<p>郊外について事業推進をしてきた功罪が福井市としてもありますが、現在の郊外の状況について、良い面、悪い面を検証する必要があると思います。郊外化の過程を検証し、なぜコンパクトシティなのか、なぜ中心市街地が必要なのか、事務局で素案をまとめまして提案をさせていただきたいと思います。</p> <p>最終的にこの基本計画の中でソフト事業、ハード事業を提案していくこととなります。活性化しないのは、公共側がまだやるべき施策があると思います。民間が行う事業についても、最終的に基本計画の中に盛り込んでいくことができればと思います。</p>